

延岡市文化財調査報告書 第16集

市内遺跡詳細  
分布調査報告書

1996.3

延岡市教育委員会

# 序 文

延岡市は、宮崎県の北部に位置し、東九州でも有数の工業都市であります。

市内では、農業基盤整備事業や、道路改良事業等に伴う事前発掘調査が行われ、埋蔵文化財が数多く散在していることが明らかになりました。

このような状況を踏まえ、延岡市教育委員会では文化財保護と開発事業との調整を図るため、平成5年度から3カ年計画で事前に詳細分布調査を実施することになりました。

本書が、埋蔵文化財の保護と文化財に対する理解の一助になればと思います。

最後になりましたが、事業の推進にあたって、宮崎県教育庁文化課をはじめ分布調査の作業に従事していただいた方々など関係各位のご理解とご協力、心から感謝の意を表します。

平成8年3月

延岡市教育委員会

教育長 牧野 哲久





## 例 言

1. 本書は、延岡市教育委員会が平成5年度から7年度にかけて文化庁、県教育委員会の補助を受けて実施した遺跡詳細分布調査の報告書です。
2. 本調査は、主に埋蔵文化財に関する調査であり、内容は当市全域を対象とする埋蔵文化財包蔵地調査カード及び遺跡分布図から成ります。
3. 本書に掲載された遺跡は、文化財保護法にいう「周知の埋蔵文化財包蔵地」です。
4. 「周知の埋蔵文化財包蔵地」において、土木工事等を実施しようとする場合は、工事着手の2カ月前までに文化庁長官に届け出ることが文化財保護法により義務づけられていますので「周知の埋蔵文化財包蔵地」及びその隣接する地域において土木工事等を実施しようとする場合は、計画段階において延岡市教育委員会文化課（延岡市東本小路2-1・☎0982-22-7047）及び県教育委員会文化課（宮崎市橋通東1-9-10・☎0985-26-7251）に照会されたい。

また、国及び地方公共団体等が土木工事等を実施しようとする場合は、文化庁長官に通知書を提出することが必要です。

なお、埋蔵文化財は、その性質上未発見のまま地中に包蔵されている場合があり、工事等により当該文化財が発見された場合にも前記と同様、延岡市教育委員会文化課及び県教育委員会文化課に連絡してください。
5. 本書及び埋蔵文化財に関するお問い合わせは、延岡市教育委員会文化課及び宮崎県教育委員会文化課へお願いします。
6. 本書の編集は山田があたった。

# 凡 例

1. 地図上の表記については、以下のとおりである。指定文化財については、史跡、名勝、天然記念物のみについて  で示し、それ以外については除外した。埋蔵文化財包蔵地（以下「遺跡」）は地図上に  で示した。古墳及び古墳群の場合は、範囲を  で示した。また、これら以外の遺跡で六地藏、石塔群等については  で示した。
2. 遺跡名については、刊行済みの調査報告書を基本とし、今回の調査で分類が可能なものについてはそれに従った。新発見の遺跡については、字名をつけて遺跡名とした。遺跡対象地が複数の字にまたがる場合は、遺跡の中心となる字名を用いた。同遺跡名が存在する場合は、頭に町名を用いた。
3. 地図の遺跡番号はすべてそれと一致する。
4. 旧番号とは、「全国遺跡地図 史跡・名勝・天然記念物および埋蔵文化財包蔵地地図」昭和52年文化庁文化財保護部作成に記載されている番号である。
5. 旧岩熊用水路については、旧岩熊井堰の関連として、地図上に示した。

## 平成5～7年度調査の組織

調査の組織 延岡市教育委員会

教育長	松坂数男（平成7年10月8日以前） 牧野哲久（平成7年10月9日以後）
教育次長	井上武衛（平成5年度） 松島 崇（平成6～7年度）
社会教育課長	大谷 建（平成5～6年度）
文化課長	牧野勝利（平成7年度）
文化係長	沖米田俊雄（平成5～6年度） 酒井修平（平成7年度）
庶務担当	吉永綾子
調査担当	山田 聡 尾方農一 高浦 哲（平成7年度）
調査指導	面高哲郎（県教育庁文化課埋蔵文化財第1係長） 谷口武範（県教育庁文化課主査）
調査員	甲斐常美、河野重喜、後藤 明、沢 皇臣、谷川良宣
調査作業員	安藤登美子、甲斐カツキ、久保利男、酒井 巖、酒井キミ子、酒井正志 酒井ミサ子、酒井義徳、白石睦子、林田裕子、牧野昭徳
資料整理	老岐広子、椎葉聡美、池田百合子

## 調査に協力いただいた方々（敬称略）

北林喜久夫、内田重利、太田 勝、佐藤 伝、和田哲宏、吉玉農夫男、佐藤 力、佐藤久夫、甲斐美登、中条順一、佐藤 学、佐々木建一、金子伝三郎、工藤義晴、玉置重徳、馬原竹雄、三輪福義、堀野康昭、内田重利、北林喜久夫、岡田弘明、猪熊 亨、佐藤計介、甲斐高義、平塚公夫、宮田文治、松本定男、酒井又生、金崎福三郎、日高正明、日高勝義、中里キミ子、森 正監、中川一重、渡部安生、島田マサ子、浅井 守、甲斐国敏、甲斐健一、甲斐 伊、古小路慶男、桑井弘準、甲斐萬吉、稲垣 進、橋本輝男、堀田 操、堀田正伸、力久ハルミ、井川武重、高橋清友、長友亀市、佐々木隆、広瀬国男、高橋忠義、山名 清、甲斐安太郎、金川弘市、栗田 保、黒木山明、重黒木一男、土肥清三郎、甲斐鷹士、横山邦雄

# 目 次

## 第1章 調査の概要

- (1) 調査の方法及び地域の区割りについて…………… 1
- (2) 調査の概要…………… 1

## 第2章 遺跡地名表

- (1) 指定文化財…………… 5
  - 1. 史跡…………… 7
  - 2. 名勝…………… 11
  - 3. 天然記念物…………… 11
  - 4. 用水路…………… 11
- (2) 埋蔵文化財包蔵地…………… 13
  - 南浦地区 (1001～) …… 15
  - 東海地区 (2001～) …… 17
  - 岡富地区 (3001～) …… 20
  - 南方地区 (4001～) …… 23
  - 恒富地区 (5001～) …… 31
  - 伊形地区 (6001～) …… 34

## 第3章 延岡市文化財関係文献一覧

報告書抄録

附図 延岡市遺跡詳細分布図

# 第1章 調査の概要

## (1) 調査の方法及び地域の区割りについて

延岡市では、大正年間より発掘調査が進められているが、本格的なものとしては昭和60年度の赤木遺跡(舞野町)の調査から始まっている。しかし、近年増加しつつある各種開発事業と文化財保護との事前調整において、資料不足などから円滑な調整が図れない状況になっていた。

こうした状況から、平成5年度から国県補助を受けながら遺跡詳細分布調査を実施することになった。調査区域は市内全域に及ぶことから、3ヶ年計画とし、平成5年度は祝子川と大瀬川を挟む地域、平成6年度は大瀬川以南地域、平成7年度は祝子川以北を中心に実施した。また、これらの作業に並行して、採集遺物の整理と遺跡台帳作成を行った。調査の過程において、六地藏塔、庚申塔などの石造物について可能な限り調査を実施した。なお、今回の分布図作製については、その図面の大きさ等を考慮して、指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地を中心に記録することとした。

報告書の地域別表示については、延岡市合併前の旧村を参考に以下のとおり区割りをを行った。

南浦地区は、高浦町、熊野江町、須美江町、浦城町、安井町。

東海地区は、東海町、川島町、鹿小路町、須佐町、差木野町、大峽町、宮長町、桑平町、妙町、大野町、佐野町、祝子町、尾崎町、夏田町、桜ヶ丘1～3丁目、櫻山町、稲葉崎町、無鹿町、柚の木田町、栗野名町、火武町、牧町、二ツ島町、神戸町、追内町、白石町、大門町、水尻町。

岡宮地区は、富美山町、柚木町、宇和田町、鹿狩瀬町、中川原町、山月町、中の瀬町、桜園町、川原崎町、日の出町、昭和町、祇園町、新町、紺屋町、瀬の口町、博労町、古川町、岡宮町、北小路、高千穂通り、山下町、栄町、萩町、幸町、船倉町、恵比須町、須崎町、柳沢町、本町、北町、中町、南町、中央通1～3丁目、東本小路、本小路、桜小路、天神小路、方財町。

南方地区は、大貫町、松山町、野田町、野地町、西階町、小峰町、天下町、吉野町、貝の畑町、岡元町、細見町、小川町、行徳町、舞野町、平田町、高野町、上三輪町、中三輪町、下三輪町。

恒富地区は、中島町、惣領町、浜砂1～3丁目、出北町、出北1～6丁目、東浜砂町、別府町、長浜町、旭町、三ツ瀬町、上大瀬町、大瀬町、永池町、安賀多町、春口町、卸本町、古城町、三須町、恒富町、北新小路、新小路、西小路、出口町、愛宕町、共栄町、伊達町、構口町、浜町、平原町、鶴ヶ丘1～2丁目、塩浜町、緑ヶ丘1～5丁目、若葉町、片田町、沖田町、小野町。

伊形地区は、石田町、伊形町、下伊形町、上伊形町、松原町、旭ヶ丘1～6丁目、赤水町、鯛名町、妙見町、樽津町、土々呂町、新浜町、北一ヶ岡1～4丁目、南一ヶ岡1～6丁目。

## (2) 調査の概要

### 1) 南浦地区

ここは、延岡市北東地域に位置する。ここは、日向灘に面した日豊海岸国定公園地域の周辺部にあたる。植生は沖合に黒潮が流れるため、海岸性の亜熱帯性植物群がみられ、市内の他地区とは様相を異にする。また、海岸線はリアス式海岸の様相を呈しており、その多くが断がけ絶壁になっている。こうした中にも、小河川によって開析した谷間に形成された平野部がみられ、熊野江町、須美江町、浦城町の集落が形成さ

れている。この地区は、集落地が限定されているなどの要因もあって、埋蔵文化財包蔵地等に認識されているところは少ないことから、実地調査を中心に行った。以下、各時代ごとに述べることにする。

旧石器時代は、主に丘陵地にその可能性があるものの、海岸性の植物群落が繁茂しているため、今回の調査では確認されていない。

縄文時代になると、海岸性の立地条件を生かして、寺ヶ谷遺跡（浦城町）から、縄文後～晩期の土器が表採されている。同様の入江は多く存在することから、今後増加することが考えられる。

弥生～古墳時代では、海岸砂丘上に立地する県史跡南浦箱式石棺群を含む外浜遺跡（熊野江町）が存在する。

古代～中世にかけては、浦城湾を天然の良港とした浦尻城跡（浦城町）を中心として、周辺に城に関連する遺跡が確認された。また、終戦後に地元住民等によって開墾等が行われ、当時採集された遺物が残っている。また、仲崎遺跡（浦城町）からリゾート施設造成の際、12世紀に鑄造されたとみられる「政和通宝」が1点出土しており、海に面した立地を生かして他地域との交流が何うことができる。

近世では、内藤家文書の絵図史料などを参考にのろし跡、休憩場跡など海上交通に関連するものが確認された。

## 2) 東海地区

この地区は、北川と祝子川の浸食作用によって下流部に開けた沖積平野と、行轅山及び大崩山を中心とする花こう岩山地から構成されている。平野部は、川の蛇行作用によって多くの微高地及び後背湿地がみられ、現在は良好な水田地帯が広がっている。

旧石器時代は、稲葉崎町などの低丘陵地帯にその可能性が考えられるが、今回の調査では確認されていない。

縄文時代は、祝子川流域の段丘上に上池遺跡（大野町）、上畑遺跡（同）が確認されている。

弥生時代になると、稲葉崎町、差木野町などの平野部で遺跡が確認されている。また、祝子遺跡（祝子町）は製鉄遺跡とされ、鉄滓、土器片が表採された記録がある。

古墳時代になると、平野部のほぼ全域にわたって遺跡の分布がみられ、県北最大の菅原神社古墳（稲葉崎町）をはじめ、櫻山古墳群、東海町の川口地区などの古墳群が確認されている。また、航空写真の検討によって、菅原神社古墳の南東部に同規模の前方後円墳と推定される痕跡が確認されたことから、稲葉崎町遺跡とした。

古代～中世では、官道の痕跡を示すものとして、祝子町に「車ヶ瀬」という字名が残っている。この他には、須佐町、大武町、稲葉崎町周辺において寺跡や散布地が確認されている他、稲葉崎町に「外城」とされる字名が見受けられ、城跡関係の遺跡と推定された。

近世～近代では、西南の役の際に、西郷軍が陣営を設けたといわれる土塁や砦が和田越から長尾山一帯を中心に点在しているのが確認された。この他、須佐神社（須佐町）の背後にある山に、旧境内の熊野神社跡と推定される平坦地が確認された。

### 3) 岡富地区

この地区は、現在の市街地が位置する平野部と、岡富山を中心とする山間部とに分かれる。

旧石器～縄文時代は、調査例が少ないこともあり、現在のところ確認されていない。

弥生時代は、主に市街地において土木工事の際に土器片が検出されており、幸町遺跡、岡富小学校周辺遺跡、日の出町遺跡などが確認されている。また、ライフピア延岡建設に伴う延岡城内遺跡の調査では、後期後半～終末期の土器、木製品をはじめ足跡などが出土し、さらに延岡城二ノ丸発掘調査では、後期の土壌墓が検出され、川中地区一帯がこの時期の遺跡包蔵地と推定されている。

古墳時代では、平野部に面した丘陵の尾根筋に古墳や箱式石棺が見受けられ、伊勢ノ前古墳や上多々良箱式石棺群などが知られている。平成7年度に調査された上ノ坊遺跡（山月町、富美山町）からは、円墳1基と土壌墓1基が検出され、鉄製品等が出土し、周辺の丘陵地帯にも分布が広がるものと思われる。この他には、須恵器窯として古川窯跡（古川町）が知られている。

古代～近世は、延岡城跡関連を中心に確認された。また、内藤家文書の絵図史料について、現在の地形図に沿った表記がみられることから、これらを参考に神事能舞台跡（恵比須町他）や城下町遺跡（中町他）等を加えた。

### 4) 南方地区

五ヶ瀬川流域に広がるこの地区は、河岸段丘と阿蘇熔結凝灰岩の堆積等によって形成された平坦な台地と丘陵群及び行藤山を中心とする山々が広がり、これらを開析して谷平野が分布している。当地区は、以前から開墾による表採などによって埋蔵文化財包蔵地が数多く知られていたが、その詳細については不明であった。しかし、近年、ほ場整備事業に伴う中尾原遺跡（細見町）、黒土田遺跡（同）、山口遺跡（小川町）、畑山遺跡（同）などの発掘調査によって、旧石器～近世の複合遺跡であることが解明されつつある。また、これらの開発事業に伴って、周辺地域からも新発見の遺跡が多数確認され、市内でも最大の埋蔵文化財包蔵地域となっている。

旧石器～縄文時代は、平坦な台地や丘陵上から、近年の発掘調査で赤木遺跡（舞野町）、黒土田遺跡（細見町）、今井野遺跡群（天下町）、畑山遺跡（小川町）などの良好な遺跡が確認されている。また、表採資料から小切畑第1・第2遺跡（上三輪町）、伊原第1・第2・第3遺跡（同）、中津野第1・第2遺跡（岡元町）、茂須野遺跡（行藤町）など遺跡密度の高い埋蔵文化財包蔵地が確認された。この他に、貝塚として大貫貝塚（大貫町）、高野貝塚（高野町）が知られている。また、大貫貝塚の西側に立地する和田ノ奥遺跡（大貫町、西階町）からも表採資料で貝殻等が確認された。

弥生～古墳時代になると、市内最大の集落遺跡である中尾原遺跡（細見町）をはじめ、天下第1・第2遺跡（天下町）、古野第1・第2遺跡（吉野町）、長谷遺跡（高野町）、眞藤遺跡（舞野町）などが確認された。また、丘陵上及びその先端部には国史跡南方古墳群やガンガン石（大貫町）、丸塚山古墳（西階町）などの有力な古墳が点在している。

古代～近世では、市内唯一の駅跡として川辺駅跡（西階町）の推定地が知られている。当地区では寺跡も文献や伝承に多くみられ、光蓮寺跡（大貫町）、光福寺跡（吉野町）、大日寺跡（天下町）、円福寺（同）などが確認された。城跡では、西階城跡（西階町）、松尾城跡（松山町）が知られていたが、松尾城跡に



については従来より北側の丘陵にも広がることが判明した。また、天下城山遺跡（天下町）は、文献にみられないが地元の伝承をきっかけに新たに確認された。この他には、近世牧野藩時代に完成した旧岩熊井堰の推定地や数多くの石塔群が確認された。

#### 5) 恒富地区

この地区は、愛宕山を中心に東西に延びる丘陵と、その南北に広がる平野部から構成されている。

旧石器時代は、平成元年に調査された片田遺跡が所在し、堂ノ上遺跡（三須町）から表採資料が得られた。

縄文時代は、三須町から小野町にかけての丘陵上から表採資料が見受けられた。また、平野部に突き出した丘陵先端部には縄文海進時期に形成されたとみられる沖田貝塚（小野町）、古城貝塚、片田貝塚が分布している。

弥生～古墳時代は、県史跡延岡古墳群が立地する丘陵地から平野部にかけて分布が見られ、中野田遺跡（三須町）、平ノ下遺跡（同）などが確認された。また、土木工事等の際に、出口町遺跡、平原町遺跡などで土器片が出土している。

古代～近世は、井上城跡（古城町）が知られ、文献史料の調査により恒富町周辺から寺跡が多く確認された。また、市内最大の塩田であったと思われる塩浜塩田跡も航空写真等により確認された。

#### 6) 伊形地区

この地区は、沖田川、井替川流域に広がる平野部と、海岸部に突き出した山が連なる半島部分から構成されている。今回の調査で確認された遺跡等は最も少なく、これは地形的な要因が大きいものと考えられる。

旧石器～古墳時代は、林遺跡（伊形町）、西の迫古墳群（石田町）が知られている。

古代は確認されなかったが、中世～近世は、城館に関するものとして、土々呂城山跡（上々呂町）、田下遺跡（上伊形町）、関所として僧部ヶ浜関所跡（土々呂町）の推定地等が確認された。

近代遺構としては、太平洋戦争時に訓練に使用されたとされる赤水震洋隊格納庫跡（赤水町）が確認された。

# 指 定 文 化 財

1. 史 跡
2. 名 勝
3. 天然記念物
4. 用 水 路



# 1. 史 跡

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	山番号	備 考
4509-1	南方古墳群 第01号墳	国	天下町709-ロ・710外	前 方 後円墳	古 墳		柄籠式
4509-2	南方古墳群 第02号墳	国	天下町709-イ外	円 墳	古 墳		横穴式石室 一部露出
4509-3	南方古墳群 第03号墳	国	天下町709-イ外	円 墳	古 墳		組合せ石棺 一部調査
4509-4	南方古墳群 第04号墳	国	天下町709-イ外	円 墳	古 墳		組合せ石棺 一部調査
4509-5	南方古墳群 第05号墳	国	天下町744-1外	前 方 後円墳	古 墳		
4509-6	南方古墳群 第06号墳	国	天下町751-2外	円 墳	古 墳		組合せ石棺
4509-7	南方古墳群 第07号墳	国	天下町758-1外	円 墳	古 墳		組合せ石棺 一部調査
4509-8	南方古墳群 第08号墳	国	天下町758-1外	円 墳	古 墳		組合せ石棺 一部調査
4509-9	南方古墳群 第09号墳	国	天下町759外	円 墳	古 墳		
4508	南方古墳群 第10号墳	国	天下町570-1外	前 方 後円墳	古 墳		一部調査
4513-1	南方古墳群 第11号墳	国	天下町1231-1外	円 墳	古 墳	7-70	高野第1号墳
4513-2	南方古墳群 第12号墳	国	天下町1213-418外	円 墳	古 墳	7-71	高野第2号墳
4513-3	南方古墳群 第13号墳	国	天下町1213-418外	円 墳	古 墳	7-72	高野第3号墳 組合せ石棺
4511-1	南方古墳群 第14号墳	国	吉野町1649-1 1653外	円 墳	古 墳		舟形石棺 一部調査
4511-2	南方古墳群 第15号墳	国	吉野町1651-2外	円 墳	古 墳		組合せ石棺 一部調査
4510	南方古墳群 第16号墳	国	吉野町1445-乙外	円 墳	古 墳		組合せ石棺

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
4 5 1 2	南方古墳群 第17号墳	国	吉野町1725- 2 外	円墳	古墳		
4 5 1 5	南方古墳群 第18号墳	国	舞野町1487-225外	円墳	古墳	7-65	平田古墳 組合せ石棺
4514- 1	南方古墳群 第19号墳	国	舞野町1424- 1 外	円墳	古墳		
4514- 2	南方古墳群 第21号墳	国	舞野町1480- 2 外	円墳	古墳		組合せ石棺
4514- 3	南方古墳群 第22号墳	国	舞野町1480- 1 外	円墳	古墳		組合せ石棺
4514- 4	南方古墳群 第23号墳	国	舞野町1478外	円墳	古墳		組合せ石棺
4506- 1	南方古墳群 第24号墳	国	大貫町5丁目2014-乙外	円墳	古墳	7-78	大貫古墳 横穴式石室 一部調査
4506- 2	南方古墳群 第25号墳	国	大貫町5丁目2056-イ外	円墳	古墳	7-78	大貫古墳
4506- 3	南方古墳群 第26号墳	国	大貫町5丁目1994外	円墳	古墳	7-78	大貫古墳
4506- 4	南方古墳群 第27号墳	国	大貫町5丁目2054外	円墳	古墳	7-78	大貫古墳
4506- 5	南方古墳群 第28号墳	国	大貫町5丁目2043外	円墳	古墳	7-78	大貫古墳
4506- 6	南方古墳群 第29号墳	国	大貫町5丁目2041外	円墳	古墳	7-78	大貫古墳
4506- 7	南方古墳群 第30号墳	国	大貫町5丁目2054外	円墳	古墳	7-78	大貫古墳
4506- 8	南方古墳群 第31号墳	国	大貫町5丁目1994外	円墳	古墳	7-78	大貫古墳
4 5 0 5	南方古墳群 第32号墳	国	西階町1丁目 2431-1 2432外	円墳	古墳		一部調査
4 5 0 4	南方古墳群 第33号墳	国	野地町1丁目2507外	円墳	古墳		

遺跡番号	名称	指定	所在地	種別	時代	旧番号	備考
4501-1	南方古墳群 第34号墳	国	野地町4丁目3261-1外	前方 後円墳	古墳	7-32	延岡野地町古墳群
4501-2	南方古墳群 第35号墳	国	野地町4丁目3261-1外	円墳	古墳	7-32	延岡野地町古墳群
4501-3	南方古墳群 第36号墳	国	野地町4丁目3269-1外	円墳	古墳	7-32	延岡野地町古墳群
4502	南方古墳群 第37号墳	国	野田町5285-2外	円墳	古墳		家形石棺
4503	南方古墳群 第38号墳	国	野田町4883-1外	円墳	古墳		
4506-9	南方古墳群 第39号墳	国	大貫町5丁目1529-2外	前方 後円墳	古墳		浄土寺山古墳 一部調査
4507	南方古墳群 第40号墳	国	天下町73外	横穴	古墳	7-75	天下北古墳2基 一部調査
4501-4	南方古墳群 第41号墳	国	野地町4丁目3378-1外	円墳	古墳	7-32	延岡野地町古墳群 直径38.5m
5502	延岡古墳群 第01号墳	県	三須町806-口-口外	円墳	古墳	7-81	延岡三須町古墳 一部調査
5504	延岡古墳群 第02号墳	県	小野町6650外	円墳	古墳	7-80	延岡小野町古墳群 一部調査
5503	延岡古墳群 第03号墳	県	小野町6678外	円墳	古墳	7-80	延岡小野町古墳群 一部調査
5505	延岡古墳群 第04号墳	県	小野町6503外	円墳	古墳	7-80	延岡小野町古墳群 一部調査
5501	延岡古墳群 第05号墳	県	愛宕町3丁目6092-1外	横穴	古墳	7-84	一部調査
2505-1	延岡古墳群 第10号墳	県	桜ヶ丘2丁目7464外	円墳	古墳	7-23	琴塚古墳 一部調査
2505-2	延岡古墳群 第11号墳	県	桜ヶ丘2丁目7464外	横穴	古墳	7-24	
2511	延岡古墳群 第12号墳	県	栗野名町1606外	円墳	古墳	7-33	延岡栗野名町古墳 石棺一部露出

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
2510	延岡古墳群 第13号墳	県	柚の木田町1320外	円墳	古墳		社殿あり
2512	延岡古墳群 第14号墳	県	牧町4412外	円墳	古墳		社殿あり
2508	延岡古墳群 第15号墳	県	大門町552外	円墳	古墳		公園
2509	延岡古墳群 第16号墳	県	大門町301外	円墳	古墳		
2502	延岡古墳群 第17号墳	県	大峽町7368外	円墳	古墳	7-28	延岡差木野町古墳
2507	延岡古墳群 第19号墳	県	桜ヶ丘1丁目7492-1外	円墳	古墳		一部調査
2504	延岡古墳群 第21号墳	県	稲葉崎町5丁目675-1外	円墳	古墳	7-20	延岡小梓町古墳
2506	延岡古墳群 第22号墳	県	稲葉崎3丁目1802外	前方 後円墳	古墳	7-25	延岡稲葉崎町古墳群 全長110m以上 社殿あり
2503	延岡古墳群 第24号墳	県	無鹿町2丁目3368-乙外	円墳	古墳	7-34	無鹿古墳 箱式石棺露出
2501	延岡古墳群 第33号墳	県	東海町143-4外	円墳	古墳	7-37	延岡奥東海町古墳
3501	延岡古墳群 第34号墳	県	岡富町771外	横穴	古墳	7-30	延岡古川町古墳群 一部調査
1501	南浦箱式 石棺群	県	熊野江町外浜2453-1	石棺	古墳		
4517	小峰窯跡	市	小峰町字内山	窯跡	近世	7-17	小峰窯跡
5506	沖田貝塚	市	小野町字横谷	貝塚	縄文	7-85	片岡貝塚

## 2. 名 勝

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
2513	那智の滝	県	川島町字崩ケ内	名 勝			
4516	行 藤 山	県	行藤町字山口	名 勝			

## 3. 天然記念物

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
5507	アカウミガメ 及 び その産卵地	県	長浜町3丁目外	天 然 記念物			
1502	ヤッコソウ	市	熊野江町字丸田通山 熊野江神社	天 然 記念物			

## 4. 用 水 路

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
0001	旧岩熊水路		下三輪町外	治 水	近 世 近 代		





# 埋藏文化財包蔵地

南浦地区 1001～

東海地区 2001～

岡富地区 3001～

南方地区 4001～

恒富地区 5001～

伊形地区 6001～



## 南浦地区 (1001～)

### 1. 古墳・横穴等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
1004	外浜遺跡		熊野江町字外浜	石 棺	古 墳		

### 2. 散布地・城跡等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
1001	地下遺跡		島浦町字地下	集落跡	近 世		水主屋敷跡
1002	御仮屋跡		島浦町字地下	城 館	近 世		
1003	遠見番所跡		島浦町字影ノ浦・字治	通 信 施 設	近 世		
1007	浦城塩田跡		浦城町字仲崎	生 産	近 世 近 代		
1008	仲崎遺跡		浦城町字仲崎	集落跡	古 代 中 世 近 世	4-5	
1009	浦尻城跡		浦城町字浦場・田ノ浦	城 跡	中 世	4-6	浦尻城跡
1010	寺ヶ谷遺跡		浦城町字浦場・田ノ浦	散布地	縄 文 古 代 中 世		
1011	旗揚山遺跡		浦城町字田ノ浦	交 通	近 世		通称のろし山
1012	浦場遺跡		浦城町字浦場	集落跡	近 世		遠見石出土 (内蔵記念館に移設)
1014	木場遺跡		熊野江町字古田・竹ノ後	散布地	中 世 近 世		
1016	須美江 会 所 跡		須美江町字樋ノ口	城 館	近 世		

### 3. 六地藏幢・石塔群等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
1005	神 之 前 第 1 遺 跡		浦城町字神之前	石塔群	中 世 近 世		
1006	神 之 前 第 2 遺 跡		浦城町字神之前	石塔群	中 世 近 世		
1013	中 村 の 六 地 蔵 幢		熊野江町中村字カラ石ノ元	石 塔	中 世		天文17年(1548)
1015	浦城高野内 遺 跡		浦城町字中之迫・高野内	石塔群	中 世 近 世		

## 東海地区（2001～）

### 1. 古墳・横穴等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
2017	馬場畑遺跡		稲葉崎町字馬場畑	古墳	古墳		
2019	檜山古墳群		稲葉崎町字平田・五反田 桜ヶ丘字七曲り 檜山町字檜山・志戸	古墳	古墳	7-26	延岡檜山町古墳
2030	川口第二遺跡		東海町字東海	石棺	古墳		一部調査

### 2. 散布地・城跡等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
2001	旧熊野神社跡		須佐町字乳母ヶ屋敷	神社跡	近世		
2002	須佐町遺跡群		須佐町字川久保・男鷄・須佐・中島・田無・乳母ヶ屋敷	散布地 集落跡	中世 近世		
2003	西南の役薩摩軍陣跡		須佐町字大内山・崩ヶ内	壘跡	近代		
2004	差木野遺跡群		差木野町字差木野	散布地	弥中 生世 近世	7-13	差木野遺跡 一部調査
2005	大峽町遺跡群		大峽町	祭祀		7-2	ドルメン 多々隠製鉄跡 ひむろ岩
2006	大峽金山谷遺跡		大峽町字西谷	生産	近世		鉱山跡
2007	西南の役薩摩軍陣跡		大峽町字大峽山 稲葉崎町字石原田	壘跡	近代		
2008	西南の役薩摩軍陣跡		大峽町字大峽山 稲葉崎町字権現田	壘跡	近代		
2009	伽藍堂遺跡		稲葉崎町字石原山	寺跡	中世		上持親宗建立?
2010	西南の役薩摩軍陣跡		稲葉崎町字石原田・長迫	壘跡	近代		

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
2011	慈福寺跡		稲葉崎町字石原田	寺跡	中世 近世		厨子が現存
2012	稲葉崎 外城跡		稲葉崎町字外城	城跡?	中世?		
2013	西南の役 薩摩軍陣跡		大峽町字大峽山 稲葉崎町字竹ノ脇 無鹿町字袴楽田	壘壕跡	近代		
2014	西南の役 薩摩軍陣跡		無鹿町字無鹿・無鹿前田	壘壕跡	近代		
2015	大友宗麟 陣跡		無鹿町字無鹿友内	砦跡	中世		
2016	社ヶ原遺跡		稲葉崎町字社ヶ原・ 平四郎久保	散布地	古墳 中世	7-21 7-22	社ヶ原遺跡 桜ヶ丘遺跡
2018	稲葉崎遺跡		稲葉崎町字富田・平田	散布地	弥生 古墳	7-27	稲葉崎遺跡
2020	妙上原遺跡		妙町字妙上原・妙下水流	散布地	縄文 中世		
2021	上畑遺跡		大野町字上畑	散布地	縄文 古墳		
2022	上池遺跡		大野町字上池	散布地	縄文		一部調査
2023	車ヶ瀬遺跡		祝子町字車ヶ瀬	交通	古代 中世		
2024	祝子遺跡		祝子町字上ノ原・寺無田	散布地	弥生		
2025	清高島遺跡		大武町字清高島	寺跡	中世 近世		清高寺跡 西林寺跡
2026	大武遺跡		大武町字大武	散布地	中世 近世		一部調査
2027	堂ノ脇遺跡		牧町字堂ノ脇	散布地	古墳 近世		
2028	川島 東海寺跡		川島町字弥五郎田・ 東海寺作	寺跡?	中世 近世		

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
2029	川口第一遺跡		東海町字東海	散布地	中世 近世		
2032	夏田遺跡		夏田町字平野・夏田 桜ヶ丘	集落跡	弥生		
2033	大門遺跡		大門町字五領・大門	散布地	弥生		
2034	川口東海寺跡		東海町字東海	寺跡?	中世 近世		
2039	東海中学校 周辺遺跡		無鹿町字神楽田・無鹿前田	散布地	古墳		
2041	旧祐国寺跡		二ツ島町字寺ノ元	寺跡	近世		

### 3. 六地藏幢・石塔群等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
2031	川口常夜燈		東海町字東海	石塔	近世		
2035	水尻の 八地藏幢		東海町字水尻	石塔	中世 近世		
2036	無鹿友内の 六地藏幢		無鹿町字無鹿友内	石塔	中世 近世		原位置不明 2基あり
2037	差木野神社 の六地藏幢		差木野町 差木野神社内	石塔	近世		宝暦9年(1759)
2038	慈福寺跡の 六地藏幢		稲葉崎町字石原田	石塔	中世 近世		2基あり 享禄2年(1529) 正徳5年(1715)
2040	有馬直純 供養塔		川島町 祐国寺内	石塔	近世		
2042	寺島の 六地藏幢		二ツ島町字寺島	石塔			
2043	牧町の 六地藏幢		牧町字堂ノ脇	石塔			



## 岡富地区 (3001～)

### 1. 古墳・横穴等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
3004	曾地遺跡		富美山町字山田 山月町字曾地	古墳	古墳		
3005	片山遺跡		富美山町字山田 山月町字片山	古墳	古墳		
3012	上々々良 箱式石棺群		岡富町字上々々良・下々々良・野田口 古川町字赤迫	石棺	古墳		2基以上あり
3014	伊勢ノ前 古墳		古川町字伊勢ノ前	古墳	古墳		一部調査

### 2. 散布地・城跡等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
3001	旧城影寺跡		宇和田町字宇和田	寺跡	近世		
3002	柚木第1 遺跡		柚木町字上柚木	散布地	弥生 古墳	7-18	柚木遺跡
3003	柚木第2 遺跡		柚木町字柚木	交通	近世		番所跡
3006	上ノ坊 遺跡		富美山町字山田 山下町字上ノ坊	古墳 散布地	古墳 古代 中世		一部調査
3007	日の出町 遺跡		日の出町	散布地	弥生		
3008	蓬菜山窯跡		山下町字上ノ坊	窯跡	近世 近代		
3009	蓬菜山 善龍寺跡		山下町字上ノ坊	寺跡	近世		祇園寺跡
3010	神事能舞台 跡		恵比須町, 祇園町, 高千穂 通り	祭祀	近世		
3011	高岳寺跡		岡富町字坊ノ内 北小路字新宮	寺跡	近世		

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
3013	不動の滝 東大寺跡		古川町字伊勢ノ前	寺 跡			
3015	赤迫遺跡		古川町字赤迫・伊勢ノ前	散布地	古 墳		
3016	古川窯跡		古川町字伊勢ノ前	窯 跡	古 墳 古 代	7-29	古川窯跡
3018	延岡城内 遺 跡		本小路、東本小路、桜小路、 天神小路、柳沢町	城 跡	中 世 近 世	7-77	延岡城跡 (亀井城跡)
3019	幸町遺跡		幸町字幸町	散布地	弥 生		
3020	岡富小学校 周辺遺跡		高千穂通り	散布地	弥 生		
3026	延岡城下町 遺 跡		北町、中町、南町、本町、 柳沢町、新町、 船倉町1～2丁目、中央通	集落跡	弥 生 近 世		
3029	備後屋敷跡		岡富町字坊内	城 館	近 世		

### 3. 六地藏幢・石塔群等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
3017	鴨田遺跡		古川町字鴨田・伊勢ノ前	石塔群	中 世 近 世		
3021	鳥原の乱 戦死者供養 の碑		北小路 城影寺内	石 塔	近 世		寛文7年(1667)
3022	仏 足 石		北小路 台雲寺内	石 塔	近 世		文政12年(1829)
3023	キリシタン 石 碑		山下町 円照寺内	石 塔	近世?		
3024	昭和町の 鳥 八 臼		昭和町字川原崎前	石 塔	近 世		文化14年(1817)
3025	キリシタン 石 碑		川原崎町字川原崎	石 塔	中 世		3基あり

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
3022	台雲寺の 六地藏幢		北小路 台雲寺内	石塔			
3027	善正寺の 烏八白		山下町 善正寺内	石塔	近世		
3028	内藤家墓地		本小路	石塔	近世		一部は台雲寺

## 南方地区 (4001～)

### 1. 古墳・横穴等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
4026	細見古墳群		細見町字細見	石 棺	古 墳		2基以上あり
4061	井の迫遺跡		天下町字井の迫	古 墳	古 墳		
4073	木ノ下遺跡		野地町字木ノ下	古 墳	古 墳		
4075	丸塚山古墳		西階町字置露	横 穴	古 墳		一部調査
4083	がんがん石		大貫町字肥登	古 墳	古 墳		

### 2. 散布地・城跡等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
4001	別当寺 大口寺跡		行藤町字山口	寺 跡	中 世		
4003	茂須野遺跡		行藤町茂須野字時広	散布地	縄 文 土 生		
4004	橋ヶ原遺跡		行藤町字橋ヶ原	散布地	縄 文		
4005	中原遺跡		行藤町字中原	散布地	縄 文		
4006	平遺跡		行藤町字平	散布地	縄文・弥生・古墳・中世・近世		
4007	行藤小切畑 遺跡群		行藤町字小切畑	散布地	旧石器 縄 文 土 生	7-14	歌ヶ原遺跡
4008	葦田窯跡		行藤町字諏訪・吉野	窯 跡	古 墳 代 古 墳 代	7-15 7-16	葦田第1号古窯跡 葦田第2号古窯跡
4009	鳥居ノ元 遺 跡		舞野町字菅ノ内・鳥居ノ元	散布地	古 墳 代 古 墳 代 中 世		

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
4010	舞野遺跡		舞野町字舞野・美土ノ内・菅ノ内	散布地	弥生 古近		
4011	美土ノ内遺跡		舞野町字美土ノ内・舞野・長辺	散布地	縄文 古		
4012	井垣野遺跡		小川町字井垣野	散布地	古墳 古		
4013	上ノ鶴遺跡		小川町字田ノ内・上ノ鶴	散布地	縄文 古		
4014	山口遺跡		小川町字山口	集落跡	古墳 古中		一部調査
4015	山田遺跡		小川町字山田	散布地	旧石器 縄文 古		
4016	畑山遺跡		小川町字山田	集落跡	旧石器 縄文 古		一部調査
4017	中津野第1遺跡		岡元町字中津野	散布地	旧石器 縄文 古		
4018	中津野第2遺跡		岡元町字中津野	散布地	旧石器 縄文 古		
4019	柏田第1遺跡		岡元町字柏田	散布地	縄文 古		
4020	柏田第2遺跡		岡元町字柏田・御堂原	散布地	縄文 古		
4021	御堂原遺跡		岡元町字御堂原	散布地	中世		
4022	妙高寺跡		岡元町字御堂原	寺跡	中世		西園寺?
4023	殿村遺跡		岡元町字殿村・柴竹	散布地	縄文 古		
4024	柴竹遺跡		岡元町字柴竹	散布地	縄文 古		
4025	中尾原遺跡		細見町字細見	集落跡	旧石器 縄文 古		一部調査

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
4027	細見遺跡		細見町字細見	散布地	縄文 弥生 古墳		
4028	上野遺跡		細見町字千葉	古墳 散布地	縄文 弥生 古墳	7-61 7-62	延岡細見町第1号墳 延岡細見町第2号墳
4029	黒土田遺跡		細見町字千葉・黒土田	散布地	縄文 弥生 古墳		一部調査
4030	竹下第1遺跡		舞野町字多々羅 貝の畑町字竹下・上貝	散布地	縄文 弥生 古墳		
4031	竹下第2遺跡		貝の畑町字竹下	散布地	弥生	7-63	貝畑遺跡
4032	多々羅第1遺跡		舞野町字多々羅	散布地	縄文 弥生 古墳		一部調査
4033	多々羅第2遺跡		舞野町字多々羅	石棺 散布地	縄文 弥生 古墳		一部調査
4034	多々羅第3遺跡		舞野町字多々羅	散布地	縄文 弥生 古墳		
4035	赤木遺跡		舞野町字眞藤・赤木	散布地	縄文 弥生 古墳		一部調査
4036	眞藤遺跡		舞野町字眞藤	散布地	縄文 弥生 古墳		
4037	平田遺跡		平田町字平田	散布地	縄文 弥生 古墳	7-66	平田遺跡
4038	惣ヶ内 鉾泉跡		平田町字惣ヶ内	城館	近世 近代		
4039	高野貝塚		高野町字長谷	貝塚	縄文 弥生	7-69	高野貝塚
4040	長谷遺跡		高野町字長谷・新貝	散布地	縄文 弥生 古墳	7-67	上原遺跡
4041	今井野 遺跡群		高野町字長谷 天下町字今井野	散布地	縄文 弥生 古墳	7-73	今井野遺跡
4042	天下金山 谷遺跡		天下町字今井野	生産	近世		鉾山跡?

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
4043	貝ノ畑遺跡		貝の畑町字上貝・竹下・ 貝ノ畑	散布地	縄文 古墳	7-64	
4045	下貝遺跡		貝の畑町字下貝 吉野町字上野原	寺跡 散布地	縄文 弥生 古石器		永楽寺跡? 舞野堂跡
4046	上野原遺跡		吉野町字上野原	散布地	縄文 古墳		
4047	中仙寺跡		吉野町字坂本	寺跡	中世		
4048	吉野 石切場跡		吉野町字角力田	生産	近世 近代		
4049	角力田 第1遺跡		吉野町字角力田	散布地	旧石器 縄文		
4050	角力田 第2遺跡		吉野町字角力田	散布地	旧石器 縄文 近世		
4051	角力田 第3遺跡		吉野町字角力田	散布地	古墳		
4052	吉野第1 遺跡		天下町字今井野 吉野町字吉野	散布地	旧石器 縄文 古墳		一部調査
4053	吉野第2 遺跡		吉野町字吉野 天下町字鬼黒	寺跡 散布地	旧石器 縄文 中世		吉野光福寺跡 一部調査
4054	鬼黒遺跡		天下町字鬼黒	横穴 散布地	古墳		
4055	船岩遺跡		天下町字船岩・鬼黒	散布地	旧石器 縄文		
4056	天下第1 遺跡		天下町字雨下	散布地	古墳		
4057	天下第2 遺跡		天下町字筒井	散布地	古墳		
4058	大日寺跡		天下町字雨下	寺跡	中世		
4059	円福寺跡		天下町字雨下	寺跡 散布地	中世		

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
4060	黒越寺跡		天下町字井の迫	寺 跡	中 世		
4062	荒田遺跡		小峰町字荒田内	集落跡	弥 生 近 世		一部調査
4063	天下城山 遺 跡		天下町字雨下中須・中ノ坪・ 井の迫・筒井	城 跡	中 世		
4064	天下中須 遺 跡		天下町字雨下中須	散布地	古 墳		
4065	五反田遺跡		小峰町字五反田・後田	散布地	縄 文 古 墳		
4066	地藏ヶ森 遺 跡		小峰町字後田・内山	集落跡	旧石器文 縄古墳		一部調査
4067	内山遺跡		小峰町字内山	集落跡	旧石器文 縄古墳		
4068	一ツ田遺跡		松山町字一ツ田	散布地	古 墳 古 代		
4069	野門遺跡		松山町字野門	散布地	縄 文 古 墳		
4070	大谷遺跡		松山町字大谷	寺跡？	古 代 中 世		
4071	松尾城跡		松山町字松山・一ツ田・ 野門	寺 跡 城 跡	古 代 中 世 近 世	7-74	松尾城跡 城影寺跡
4072	野 田 町 八田遺跡群		野田町字八田	集落跡	縄 文 弥 生 古 墳		地藏ヶ森古墳 一部調査
4074	西階城跡		野田町字野田 西階町字置露 大貫町字丸山	城 跡	中 世		別名宝板城 一部調査
4076	川辺駅跡		西階町字川辺	官 衛	古 代		
4077	宮畑遺跡		大貫町字宮畑・西ノ園・ 糸引・和田	散布地	縄 文 弥 生 古 墳		一部調査
4078	和田ノ奥 遺 跡		大貫町字和田ノ奥・和田ノ 迫・糸引・和田 西階町字・谷袴	散布地	縄 文 弥 生		



遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
4079	迫嶺遺跡		大貫町字迫嶺・和田ノ迫	散布地	縄文 弥生	7-78	大貫古墳 一部調査
4080	浄土寺跡		大貫町字浄土寺	寺跡?	中世		
4081	大貫貝塚		大貫町字平・浄土寺	貝塚	縄文	7-79	大貫貝塚 一部調査
4082	上無田遺跡		野地町字中峰・平野 大貫町字上無田・中無田・ 引揚ノ元	散布地	縄文 古墳		一部調査
4084	肥登遺跡		大貫町字肥登 野地町字岩崎	散布地	古墳		
4085	光蓮寺跡		大貫町字光蓮寺	寺跡	古代 中世		幸蓮寺ともあり
4086	中ノ須遺跡		大貫町字犬飼田・大工畑	散布地	近世		一部調査
4087	鹿越遺跡		上三輪町字鹿越	散布地	縄文 弥生 古墳		
4088	五領遺跡		上三輪町字五領	散布地	中世 近世		
4089	伊原 第1遺跡		上三輪町字伊原・上ノ鶴	散布地	縄文 弥生 古墳		
4090	伊原 第2遺跡		上三輪町字伊原・上ノ鶴	散布地	縄文 弥生 古墳		
4091	伊原 第3遺跡		上三輪町字伊原・上ノ鶴	散布地	縄文 弥生 古墳		
4092	上三輪小切畑 第1遺跡		上三輪町字小田切	散布地	縄文		
4093	上三輪小切畑 第2遺跡		上三輪町字小田切	散布地	縄文		
4094	旧長全寺跡		上三輪町字櫻谷	寺跡	中世 近世		
4095	中三輪大野 第1遺跡		中三輪町字大野	散布地	弥生 古墳		

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
4096	中三輪大野 第2遺跡		中三輪町字大野	寺跡 散布地	古墳 中世		
4097	旧岩熊井堰		下三輪町字岩熊	治水	近世 近代		
4098	仲畑遺跡		下三輪町字仲畑・岩熊	散布地	古墳 古代		
4099	旧下三輪 神社跡		下三輪町字青谷城	城館?	中世?		青谷城跡?
4115	飯島遺跡		野田町字飯島	散布地			

### 3. 六地藏幢・石塔群等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
4002	行願神社 石塔群		行願町字山口	石塔群	中世		
4044	貝の畑 石塔群		貝の畑町字貝ノ畑	石塔群	中世 近世		
4100	土持卒塔婆		古野町字吉野	石塔	中世		文明14年(1482)
4101	大貫の石人		大貫町字引揚ノ元	石人	古墳		「野地の石人」 ともある
4102	妙光寺の 六地藏幢		小川町 妙光寺内	石塔			
4103	妙高寺跡の 六地藏幢		岡元町字御堂原	石塔	中世		内藤記念館へ 移設 天文15年(1546)
4104	岡元薬師堂 の六地藏幢		岡元町 岡元薬師堂内	石塔	近世		文政5年(1822)
4105	舞野の 六地藏幢	県	舞野町字舞野	石塔	中世		内藤記念館へ 移設 弘治3年(1557)
4106	地藏ヶ森の 六地藏幢		小峰町字後田	石塔			

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
4107	天福寺の 六地藏幢		小峰町 天福寺内	石塔			
4108	常楽寺の 六地藏幢		野地町 常楽寺内	石塔	中世		天文6年(1537)
4109	野地神社の 六地藏幢		野地町 野地神社内	石塔			
4110	平野の 六地藏幢		野地町字平野	石塔			
4111	鹿越の 六地藏幢		上三輪町字鹿越	石塔			
4112	地福寺の 六地藏幢		上三輪町 地福寺内	石塔	近世		享保16年(1731)
4113	伊原の 六地藏幢		上三輪町字伊原	石塔			
4114	長全寺の 六地藏幢		下三輪町 長全寺内	石塔	中世		天文10年(1541)

## 恒富地区 (5001～)

### 1. 古墳・横穴等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
5026	平原古墳		平原町字庄司田	石 棺	古 墳	7-87	内藤記念館へ移送
5028	港山古墳		塩浜町字港山	石 棺	古 墳		箱式石棺 一部調査

### 2. 散布地・城跡等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
5001	大円寺跡		浜砂町字大円寺	寺 跡	中 世 近 世		
5002	山誓歌寺跡		新小路付近	寺 跡	中 世 近 世		
5003	西光寺跡		西小路字西光寺・中野城	寺 跡	中 世 近 世		中野城跡
5004	恒富本村遺跡		恒富町1丁目～3丁目付近	集落跡	姓・古墳 古代・中世 近 世		智法寺跡
5005	和合寺遺跡		新小路2丁目   付近 愛宕町2丁目	寺 跡	中 世 近 世		
5006	光福寺跡		恒富町4丁目   付近 愛宕町3丁目	寺 跡	中 世 近 世		
5007	利生寺跡		恒富町字利生寺・山本	寺 跡	中 世 近 世		
5008	春日寺跡		古城町2丁目・4丁目付近	寺 跡	中 世 近 世		
5009	惣泉寺跡		古城町字田中惣泉寺	寺 跡	中 世 近 世		田中薬師寺跡
5010	古城貝塚		古城町字古城	貝 塚	縄 文		
5011	古城窯跡		古城町字古城	窯 跡	近 世	7-82	古城窯跡 一部調査

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
5012	井上城跡		三須町字越ノ前・古城下 古城町字古城・六反田・ 古城下・天守山	城跡	中世	7-83	井上城跡
5013	平ノ下遺跡		三須町字平ノ下	散布地 古墳	古墳 中世	7-81	延岡三須町古墳 一部調査
5014	中野田遺跡		三須町字中野田	散布地	縄文 古墳		
5015	迫ノ田遺跡		小野町字竹下・迫ノ田・ 堀町	散布地	縄文 弥生 古墳		
5016	古園遺跡		小野町字古園	散布地	縄文 弥生 古墳		
5017	堂ノ上遺跡		三須町字堂ノ上・磐形	散布地 古墳	旧石器 縄文 古墳 中世	7-80	延岡小野町古墳群 一部調査
5018	真藏寺跡		三須町字島戸山	寺跡	近世		
5019	横谷遺跡		小野町字横谷	貝塚	縄文	7-85	片岡貝塚 一部調査
5020	片田遺跡群		片田町字狩迫・片田・ 太田迫・内ノ田	散布地	旧石器 縄文 古墳 弥生 古中近		一部調査
5021	太田迫遺跡		片田町字太田迫	散布地	弥生 古中近		
5022	神田給遺跡		片田町字神田給	散布地	古墳		
5023	片田貝塚		片田町字片田・太田迫	貝塚	縄文		
5024	鬼ヶ城跡		構口町字鬼ヶ城	城跡	中世?		
5025	平原遺跡		構口町字野中田・鬼ヶ城・ 立田・萩原 平原町字萩原	散布地	弥生 古中	7-86	平原遺跡
5027	平原窯跡		鶴ヶ丘字夏井	窯跡	近 代		
5029	笹目洞穴		塩浜町字港山	洞穴			

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
5030	塩浜塩田跡		塩浜町3丁目付近	生産	近世 近代		
5033	屋敷内遺跡		小野町字屋敷内	散布地	古墳		
5034	出口町遺跡		出口町 西小路 古城町1丁目	散布地	弥生		

### 3. 六地藏幢・石塔群等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
5031	袴形の六地藏幢		小野町字袴形	石塔			内藤記念館へ 移設
5032	願成寺の六地藏幢		新小路 願成寺内	石塔	中世		二基あり 享禄5年(1532)

## 伊形地区 (6001～)

### 1. 古墳・横穴等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
6001	石田西の追古墳群		石田町字西の追	古 墳	古 墳		内藤記念館に移設 一部調査

### 2. 散布地・城跡等

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
6002	林 遺 跡		伊形町字林・春ノ田	散布地	旧石器 占中 墳世 近世		一部調査
6003	大鶴遺跡		上伊形町字大鶴・宇野	集落跡	中 世		
6004	田下遺跡		上伊形町字田下	集落跡	中 世		通称：屋敷ケ段
6006	越路遺跡		上伊形町字越路	祭 祀	古 墳	7-88	越路遺跡 子持勾玉出土
6005	上伊形遺跡		上伊形町字侶木・越路	城館?	中 世	7-89	
6007	僧都ヶ浜開所跡		土々呂町字僧都ヶ浜	交 通	近 世		
6008	土々呂城山跡		土々呂町字城山	城 跡	中世?		
6009	仏生寺遺跡		櫛津町字仏生寺	寺 跡	中世?		
6010	旧極楽寺跡		櫛津町字天神山・井ノ元	寺 跡	中 世		
6011	赤水震洋隊格納庫跡		赤水町字外浦北山 鯛名町字元鯛名・宮田・ 桃ヶ追	戦 跡	近 代		
6012	鱒見小屋遺跡		赤水町字谷水	集落跡	近 代		
6013	赤水鉾山跡		赤水町字白浜	生 産	近 世 近 代		

遺跡番号	名 称	指定	所 在 地	種 別	時 代	旧番号	備 考
6014	興禪寺跡		赤水町字寺ヶ谷	石塔群 寺 跡	近 世		



## 延岡市 文化財関連文献一覧

- 「南方村」『村治50年』 南方村 (1938)
- 「柳田龍太郎」『元形郷上誌』 柳田龍太郎 (1937)
- 「土々呂公民館」『樽津公民館』『土々呂の今昔』 土々呂公民館 樽津公民館 (1986)
- 「下平原公民館第二次編集委員会」『下平原のあゆみ』 下平原公民館第二次編集委員会 (1984)
- 「小嶋政一郎」『郷土史「方財島」—その歴史・民俗・教育— (1975)
- 「渡部誠一郎」『郷土島野浦 語りつぐふるさと』 渡部誠一郎 (1995)
- 「渡部誠一郎」『郷土島野浦 語りつぐふるさと (改訂版)』 渡部誠一郎 (1996)
- 「古川昌晴・磯部功一編」『しまんだ〜止むことのない時の流れの中に』 古川昌晴・磯部功一 (1984)
- 「大島 守」『南延岡案内』 南延岡商工会 (1929)
- 「宮崎県神社庁」『宮崎県神社誌』 宮崎県神社庁 (1988)
- 「平田廣司」『ひとつぶの麦 のべおかキリシタン史』 延岡カトリック教会 (1989)
- 「延岡史談会」『延岡史談会報 創刊号』 延岡史談会 (1981)
- 「延岡史談会」『延岡史談会報 第2号』 延岡史談会 (1982)
- 「延岡史談会」『延岡史談会報 第3号』 延岡史談会 (1983)
- 「延岡史談会」『延岡史談会報 第4号』 延岡史談会 (1984)
- 「延岡史談会」『延岡史談会報 第5・6・7合併号』 延岡史談会 (1988)
- 「延岡史談会」『延岡史談会報 第8号』 延岡史談会 (1988)
- 「延岡史談会」『延岡史談会報 第12号』 延岡史談会 (1992)
- 「延岡史談会」『延岡史談会報 第13号』 延岡史談会 (1993)
- 「延岡史談会」『延岡史談会報 第14号』 延岡史談会 (1994)
- 「延岡史談会」『延岡史談会報 第15号』 延岡史談会 (1995)
- 「延岡史談会」『史談会再発足十周年記念文集』 延岡史談会 (1988)
- 「延岡史談会」『市内史跡標柱建立一覧』 延岡史談会
- 「延岡史談会史跡史実研究部」『郷土の歴史探訪市内祠堂めぐり』 延岡史談会 (1987)
- 「延岡郷土史婦人学級OB会ひみこ」『五周年記念誌延岡の神社をたずねて』 延岡郷土史婦人学級OB会ひみこ (1989)
- 「延岡郷土史婦人学級OB会ひみこ」『五周年記念誌延岡の神社をたずねて 補充編』 延岡郷土史婦人学級OB会ひみこ (1990)
- 「延岡郷土史婦人学級OB会ひみこ」『10周年記念誌延岡の石塔を訪ねて (上巻)』 延岡郷土史婦人学級OB会ひみこ (1996)
- 「延岡郷土史婦人学級OB会ひみこ」『10周年記念誌延岡の石塔を訪ねて (下巻)』 延岡郷土史婦人学級OB会ひみこ (1996)
- 「編集:延岡春秋社」『碑文集』 記念碑保存会 (1965)
- 「藤川寿男」『延岡の庚申塔』

- 「山室元吉」『延岡丁丑戦記』山室元吉(1917)
- 「香春建一」『風雲 西郷臨末史 上篇』西郷臨末史刊行会(1955)
- 「香春建一」『風雲 西郷臨末史 下篇』西郷臨末史刊行会(1958)
- 「増満繁雄」『西郷どんと西南戦争』田中書店(1963)
- 「香春建一」『大西郷遺聞』延岡西南史跡顕彰会(1968)
- 「香春建一」『西郷臨末記』守部市美(1970)
- 「近本喜續」『西南の役戦跡紀行歴史と遭遇の喜び』(1989)
- 「佐々木克」『西南戦争における西郷隆盛と士族』『人文学報68号別刷』京都大学人文科学研究所(1991)
- 「田口栄一」『倉林明之助 明治十年二月ヨリ 戦闘日記』(1994)
- 「延岡西南役会」『西南役研究誌第一集 西郷南洲と西南役』延岡西南役会
- 「河野弘善」『西南戦争 延岡隊遺聞』(1991)夕刊デイリーに掲載
- 「東臼杵郡史蹟調査会」『鳥居龍蔵博士講演 第二回・第三回延岡附近古墳調査』東臼杵郡史蹟調査会(1916)
- 「小嶋政一郎」『延岡郷土読本 昭和6年版』谷書店(1931)
- 「日向郷土会」『日向郷土史年表』文華堂書店(1932)
- 「鈴木健一郎」『日向の傳説』文華堂(1933)
- 「石川恒太郎」『延岡郷土読本』延岡郷土研究会(1948)
- 「日高重孝」『日向今昔物語』ひうが社(1951)
- 「小嶋政一郎」『延岡郷土史年代表』延岡市文化連盟(1966)
- 「黒木敏隆編」『延岡藩史年表 付日向北部天領諸町村』(1971)
- 「宮崎県内務部」『宮崎県古墳台帳』(1918)
- 「熊田葦城」『日本史蹟大系第1巻』(1935)
- 「鳥居龍蔵」『上代の日向延岡』(1935)
- 「石川恒太郎」『考古学雑誌30-5』(1940)
- 「宮崎県教育委員会」『日向史蹟調査報告書』(1952)
- 「石川恒太郎」『日向史学第1巻3号』(1953)
- 「宮崎大学研究室 田中熊雄」『宮崎県縄文弥生期考古遺物地名録』(1957)
- 「田中熊雄」『宮崎大学学芸部紀要4』(1958)
- 「郷土文化研究所」『延岡小峰窯跡』(1964)
- 「南九短大・付属高校」『郷土研究第2号』(1964)
- 「宮崎県立図書館」『宮崎県郷土資料目録』(1964)
- 「宮崎県教育委員会」『宮崎県史蹟調査報告書第10集』(1965)
- 「小田富士雄」『九州考古学29・30』(1966)
- 「宮崎県教育委員会」『第2次日向遺跡総合調査第2・3号』(1967)
- 「旭化成工業株式会社 延岡支社」『延岡櫻山古墳調査報告書』(1971)

- 「朝日新聞社」『鳥居龍藏全集第4巻』(1976)
- 「延岡市教育委員会」『野田町八田遺跡』(1978)
- 「延岡市教育委員会」『南方古墳群保存管理計画書』(1979)
- 「茂山 護」『宮崎県総合博物館研究紀要No.5』(1979)
- 「山中悦雄」『宮崎県総合博物館研究紀要No.8』(1982)
- 「近藤 協」『宮崎県総合博物館研究紀要No.17』(1991)
- 「西日本図書館コンサルタント協会」『宮崎県史蹟調査(復刻版)』(1980)
- 「宮崎県」『宮崎県史 資料編考古Ⅰ』(1989)
- 「宮崎県」『宮崎県史 資料編考古Ⅱ』(1993)
- 「宮崎県教育委員会」『昭和61年度農業基盤整備調査に伴う遺跡調査』(1987)
- 「宮崎県教育委員会」『平成元年度農業基盤整備調査に伴う発掘調査概要報告』(1990)
- 「延岡市教育委員会」『県営開場整備事業上南方地区に伴う発掘調査概要報告』(1991)
- 「小田省三」『延岡葦菜山焼研究』(1968)
- 「柴田五橋・小田省三」『延岡内山焼(小峰焼)の研究2号』(1969)
- 「宮崎県教育委員会」『宮崎県文化財調査報告書第14集』「琴塚箱式石棺、伊勢ノ前古墳」(1969)
- 「宮崎県教育委員会」『宮崎県文化財調査報告書第16集』「大貫遺跡」(1972)
- 「宮崎県教育委員会」『宮崎県文化財調査報告書第20集』「荒田遺跡」(1978)
- 「宮崎県教育委員会」『宮崎県文化財調査報告書第21集』「赤木箱式石棺」(1979)
- 「宮崎県教育委員会」『宮崎県文化財調査報告書第22集』「熊野江積石塚6号」(1980)
- 「宮崎県教育委員会」『宮崎県文化財調査報告書第26集』「葦田窯跡」(1983)
- 「宮崎県教育委員会」『宮崎県文化財調査報告書第30集』「林遺跡」(1987)
- 「宮崎県教育委員会」『宮崎県文化財調査報告書第31集』「地藏ヶ森遺跡」(1988)
- 「延岡市教育委員会」『延岡市文化財調査報告書第1集』「南方古墳群第19号、石田組合せ式石棺」(1981)
- 「延岡市教育委員会」『延岡市文化財調査報告書第2集』「貝の畑および行騰神社境内の石塔調査」(1983)
- 「延岡市教育委員会」『延岡市文化財調査報告書第3集』「赤木遺跡、多々羅遺跡」(1987)
- 「延岡市教育委員会」『延岡市文化財調査報告書第4集』「今井野遺跡」(1990)
- 「延岡市教育委員会」『延岡市文化財調査報告書第5集』「片田遺跡(概報)」(1990)
- 「延岡市教育委員会」『延岡市文化財調査報告書第6集』「山口遺跡、中尾原遺跡」(1991)
- 「延岡市教育委員会」『延岡市文化財調査報告書第7集』「片田遺跡」(1991)
- 「延岡市教育委員会」『延岡市文化財調査報告書第8集』「中尾原遺跡、畑山遺跡」(1992)
- 「延岡市教育委員会」『延岡市文化財調査報告書第9集』「送木野遺跡」(1992)
- 「延岡市教育委員会」『延岡市文化財調査報告書第10集』「黒土田遺跡、延岡城内遺跡、吉野遺跡、横谷遺跡」(1993)
- 「延岡市教育委員会」『延岡市文化財調査報告書第11集』「上南方地区遺跡(山口、中尾原遺跡)」(1994)

- 「延岡市教育委員会」『延岡市文化財調査報告書第12集』「上池遺跡・野田町八田遺跡第2地点、西階城  
周辺遺跡（第一次）、延岡城内遺跡E地点」（1994）
- 「延岡市教育委員会」『延岡市文化財調査報告書第13集』「黒土田遺跡、赤木遺跡第2地点、上無田遺跡、  
平野遺跡、上支野遺跡、浄土寺山古墳」（1995）
- 「平部嶋南」『日向地誌』（復刻） 青瀬社（1976）
- 「平部嶋南」『日向古迹誌』（復刻） 歴史図書社（1977）
- 「角川書店」『宮崎県』『角川日本地名大辞典』45『角川日本地名大辞典45 宮崎県』（1986）
- 「石川恒太郎」『大分・宮崎・愛媛』『日本城郭大系』16『日本城郭大系16 大分・宮崎・愛媛』新  
物往来社（1977）
- 「宮崎県総合博物館」『宮崎県総合博物館収蔵資料目録考古歴史資料編』（1983）
- 「石川恒太郎」『宮崎県の考古学』『郷土考古学叢書』4 吉川弘文館（1968）
- 「日高次吉」『宮崎県の歴史』山川出版社（1970）
- 「喜田貞吉・日高重考」『日向國史』（復刻） 名著出版印刷部（1973）
- 「多田隈豊秋」『九州の石塔 下巻』 關西日本文化協会（1978）
- 「坂口雅柳」『九州六地蔵考』 西日本新聞社（1979）

## 報 告 書 抄 録

ふりがな	しないいせきしょうさいぶんぶちょうさほうこくしょ
書名	市内遺跡詳細分布調査報告書
副書名	
巻次	
シリーズ名	延岡市文化財調査報告書
シリーズ番号	第16集
著者名	山田 聡
編集機関	延岡市教育委員会
所在地	宮崎県延岡市東本小路2-1
発行年月日	1996年3月31日

所収遺跡名	所在地	市町村 コード	遺跡 コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市内遺跡	延岡市 東本小路外	452033		32°	131°	930401	283.76 平方キロ メートル	各種開発事業との 事前調整の資料作成
				43'	32'			
				32°	45°			
				1	1			
				32°	131°			
29°	50°	960320						
11°	20°							

市内遺跡詳細分布調査報告書

1996年3月

編集・発行 延岡市教育委員会

〒882 宮崎県延岡市東本小路2-1

TEL. 0982-22-7047

印刷 富士マイクロ株式会社

宮崎市船塚2丁目182-1

